

04

部分的なレコーディングのやり直しを
自動で行いたい（オートパンチ録音）

再生しながら、ある箇所に差し掛かったらレコーディングを開始し、必要な部分を録り終えたら再生に戻ることをパンチ録音と呼びます。またレコーディング開始をパンチイン、終了をパンチアウトと呼びます。ここでは、あらかじめ設定した区間で自動的にパンチイン/アウトを行うオートパンチ録音について解説します。なおオートパンチはオーディオトラックでも同様の操作が行えます。

STEP

1 オートパンチボタンを表示する

オートパンチを設定するには、コントロールバーにオートパンチボタンを表示しておくと便利です。コントロールバー上で右クリック（control+クリック）しコントロールバーとディスプレイをカスタマイズ①を選択します。コントロールバーとディスプレイをカスタマイズダイアログがプルダウンしますから、オートパンチ②にチェックをつけます。

✈ コントロールバーをカスタマイズするには、メインメニューから表示→コントロールバーとディスプレイをカスタマイズを選択してもかまいません。詳細は、「メインウィンドウのカスタマイズ」(P066)を参照してください。

✈ パンチ録音を手動で行うマニュアルパンチについては「部分的なレコーディングのやり直しを手動で行いたい（マニュアルパンチ録音）」(P152)を参照してください。



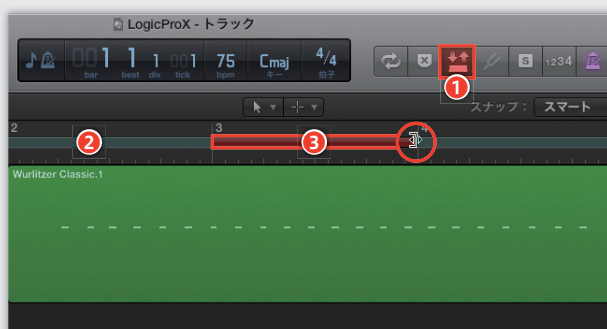
STEP

2 オートパンチ区間を設定する

コントロールバーのオートパンチボタンをクリックして点灯すると①、ルーラーにオートパンチ領域②が表示されます。目的の範囲をドラッグすると赤くオートパンチの区間が表示されます③。左端がパンチインのポイント、右端がパンチアウトのポイントです。ロケータと同様に、両端や中央部分をドラッグして区間を変更できます。

✈ command+control+option+Pキーのキーコマンド操作を行うとSTEP1の操作を行わなくても自動的にコントロールバーにオートパンチボタンが表示され、それと同時にオートパンチ領域を表示できます。

✈ ロケータの設定については「プロジェクト中の任意の位置に移動したい/ロケータを設定したい」(P106)を参照してください。



POINT

コントロールバーとディスプレイをカスタマイズダイアログで、パンチ・イン/アウト・ロケータを再生ヘッドで設定にチェックをつけると、現在の再生ヘッド位置を、ワンタッチでオートパンチ領域の左端と右端に設定するボタンが表示されます。